## 西区地域包括ケアシステム アクションプラン 令和6年度実績報告

### (1) 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり(介護予防・生活支援)

西区においては平成29年度から地域包括ケアシステム構築に向け、関係者や地域住民と連携し地域活動を展開していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により地域の活動が減少したり外出自粛等から身体面や精神面の活動低下が予測される。新しい生活様式に応じて地域資源 を活かしながら「生涯現役」で活躍でき、「生涯健康」で心も体もいきいきとした生活が送ることができるように体制を整える。

※ 評価基準:◎…100%以上達成、または既に目標達成済み、○…80~100%未満達成、または令和7年度達成に向けて推移している、△…80%未満、または現状のままでは令和7年度達成が難しい

	取組項目	活動内容	目標(R7) (2025)	実績 (R4) (2022)		i (R4) 022)	実績 (R5) (2023)	実績 (R6) (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	担当課•関係機関• 関係団体
1	サロンや介護予防活動等、通いの場づくり	「元気くらぶ」など高齢者の 通いの場が増えるよう地域団 体と連携を図っていく。(重 点)	全町内の半数に月1回 以上の通いの場の設置	くまもと元気くらぶ15か所     地域支え合い型通所サービス 10か所     高齢者健康サロンや集いの場等     ささえりあ把握分 59 件     保健こども課支援 20件     通いの場立ち上げ・継続のための窓口相談 26件	〇 現在進行形で通 いの場が増加し ている。	今後も通いの場 の立ち上げに向 けて支援を継続 する。	くまもと元気くらぶ 16か所     地域支え合い型通所サービス 11か所     高齢者健康サロンや集いの場等     ささえりあ把握分 72 件     保健こども課支援 36 件     通いの場立ち上げ、継続のための窓口相談     11件	・くまもと元気くらぶ 15か所     ・地域支え合い型通所サービス 12か所     (うちB型元気くらぶ 5か所)     ・高齢者健康サロンや集いの場等     ささえりあ把握分 70件     保健こども課支援 19件     ・通いの場立ち上げ、継続のための窓口相談 14件(13団体)	$\Longrightarrow$	評価・見直し	自治協等地域組織、 民生委員、市社協西 区事務所、地域リハ 広域支援センター、 ささえりあ、保健こ ども課、福祉課
2	高齢者の得手や力をいか す取り組み促進	高齢者が活動する場の提供を 支援していく。(共通)	・食生活改善推進員や 8020推進委員、介護 予防サポーター等が増	・食生活改善推進員 65名     ・8020推進委員 125名     ・介護予防サポーター 47名     ・介護予防サポーターの活躍の場の提供1回     ・介護予防サポーターの活躍の場の提供     1か所	ボランティアの 養成はできた が、コロナ禍の ため地域活動が 制限されてい た。	今後もボランン ラテルを介 ラテルを介 リカス・カース・カール はきが、一切ででは、 のマ後関 がでする。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	・食生活改善推進員 63名     ・8020推進委員 127名     ・介護予防サポーター 47名     ・介護予防サポーターの活躍の場の提供     3回、3か所	・食生活改善推進員 63 名     ・8020推進委員 121名     ・介護予防サポーター 61 名     ・介護予防サポーターの活躍の場の提供			熊本市食生活改善推
3	地域の人材の発掘・育成 と活用	介護予防サポーター養成講座 等により、ポランティア意識 の醸成を図り地域活動に繋げ る。(重点)	える ・介護予防サポーター の半数に活躍の場の提 供	・介護予防サポーター養成講座 1回 (5回シリーズ)     ・情報提供及び現況確認 (介護予防サポーター交流会中止のため) 2名     ・介護予防サポーターの地域活動 への参加 1回     ・R4年度食生活改善推進員養成数 5名     ・R4年度8020推進員育成者数 25名			・介護予防サポーター養成講座 1回 (5回シリーズ)     ・情報提供及び現況確認 (介護予防サポーター交流会中止のため) 0名     ・介護予防サポーターの地域活動 への参加 3回     ・R5年度食生活改善推進員養成数 7名     ・R5年度8020推進員育成者数 21名	・介護予防サポーター養成講座 集合(4回シリーズ)1回 オンライン(3回シリーズ)1回  ・介護予防サポーターフォローアップ講座1回  ・ 「がき体操トレーナー養成講座  1回(講義8回 実習8回)  ・介護予防サポーターの地域活動への参加6回  ・ R6年度食生活改善推進員養成数 13名  ・ R6年度8020推進員育成者数 25名		評価・見	進員協議会、熊本市 8020健康づくりの 会、保健こども課、 ささえりあ、福祉課
4	地域で見守り支え合う体制づくり	地域団体や民生委員等の意見 を踏まえ、地域における見守 り活動の連携を強化する。 (共通)	重層的な見守り体制の 確立	高齢世帯への見守り訪問 981件     シルバーヘルパー活動推進事業 補助金助成 2か所(花園・池田)     地域課題型ケア会議や地域運営協議会に 福祉や医療以外の関係機関も参加     防災訓練や震災実動訓練等 11か所	て、関係各所と	重層的な見守り を制が定着でき るよう、会議 ケース対応を経続 ケーて連携を継続 する。	高齢世帯への見守り訪問 1005件     地域支えあい型サービス 17件     地域課題型ケア会議や地域運営協議会に 福祉や医療以外の関係機関も参加     地域主催の防災訓練 6か所 約330人参加 震災対処訓練 16か所 32回実施	<ul> <li>高齢世帯への見守り訪問 152 件</li> <li>・地域支えあい型サービス 12 件</li> <li>・地域課題型ケア会議や地域運営協議会に福祉や医療以外の関係機関も参加</li> <li>・地域主催の防災訓練7か所 約475人参加震災対処訓練 33か所 66回実施</li> </ul>		評価・兄	民生委員、ささえり あ、市社協西区事務 所、福祉課
5	高齢者の健康づくり	高齢者や支援者の疾病・介護 予防に関する意識を高める。 (重点)	特定健診受診率を市の 平均まで引き上げる	・元気くらぶでのフレイル予防教室 62か所・運動評価測定のための訪問 17か所・ささえりあ広報誌での普及啓発 45回・高齢者健康サロンや集いの場等でのフレイル予防や健康教室など(ささえりあ実施分)65回・ロコモ予防教室 1回・ロ腔ケア及びオーラルフレイル予防教室 6回(保健子ども課 歯科)・特定健診受診率 西区 27.7%(令和3年度)	ションではいる 診率が低下し、 コロナ前の受診 率にも戻ってい ない。	健診の広報啓発 について関係 課、関係機関と 連携を行う。	・元気くらぶでのフレイル予防講座 20か所 (運動手帳、フレイルチラシの配布) ・運動評価測定のための訪問 47か所 ・ささえりあ広報誌での普及啓発 16回 ・高齢者健康サロンや集いの場等でのフレイル 予防や健康教室など(ささえりあ実施分)156回 ローコモ予防教室 1回 ・口かアア及びオーラルフレイル予防教室 10回 ・特定健診受診率 西区 28.9%(令和4年 度)	・元気くらぶでのフレイル予防講座 20か所 (運動手帳、フレイルチラシの配布)     ・運動評価測定のための訪問 44か所     ・ささえりあ広報誌での普及啓発 23 回     ・高齢者健康サロンや集いの場等でのフレイル 予防や健康教室など(ささえりあ実施分) 152回     ・ロコモ予防教室 0回     ・フレイル予防に関する健康教育(栄養講話) 1回     ・ロ腔ケア及びオーラルフレイル予防教室 12回     ・骨卒中予防健康教育 21回     ・特定健診受診率 西区286%(令和5年度)     市平均30.8 %		評価・見直し	ささえりあ、市社協 西区事務所、保健こ ども課、福祉課

	取組項目	活動内容	目標(R7) (2025)	実績 (R4) (2022)	中間評価 (R4) (2022)	実績 (R5) (2023)	実績 (R6) (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	担当課・関係機関・ 関係団体
6	地域や地域の高齢者のニーズの把握や分析	地域ニーズを把握し、地域支 援活動に繋げる。 (共通)	ニーズ調査に基づいて 西区における課題抽出 とその改善を実施	・ニーズ調査 12か所	〇 二一ズ調査から 課題抽出を行 い、協議体でも 協議している	・ ・ニーズ調査 5か所	・ニーズ調査 2か所		評価・見直し	ささえりあ、まちづ くりセンター、福祉
7	生活支援の充実(イン フォーマル)	日常生活に必要な地域資源を 把握し、情報共有を行う。 (共通)	一覧表を毎年更新	・地域資源の情報提供一覧表の作成 5か所	© 現在の取り 現在の取り を継続する。 している。	<ul><li>・地域資源の情報提供一覧表の作成 9か所</li></ul>	・地域資源の情報提供一覧表の作成 12か所		評価・見直し	課
8	世代間交流の促進	高齢者が積極的に地域行事等に参加できる体制を構築し、 世代間交流や生きがいづくり を促進する。(共通)	・多世代型力フェ等の 開催 ・新しい生活様式を踏 まえた多世代交流の企 画・実施	・地域主催の世代間交流事業及び生きがいづくりのための行事(まちづくりセンター把握分の祭りやどんどや、ウォーキング、清掃活動等)延べ 449回 ・多世代が交流する場の提供 (ささえりあ実施分) 1か所	の 地域活動が再開 し、多世代交流 カフェ等の開催に 向けて下地作り をしている。		のための行事 延べ 1365 回 ・多世代が交流する場の提供 23か所		評価・見直し	自治協等地域組織、 ささえりあ、市社協 西区事まおがづくりセンター、保健ことも 課、福祉課
9	高齢者相談体制の充実	多職種のネットワークを強化 し、相談内容に応じて適切な 機関へ繋げる。(共通)	重層的支援体制の構築	・相談体制の強化 出張所実施回数 延べ 83回 ・多種職ネットワーク強化の取り組み 27件	O 関係者との	が ・相談体制の強化 ・相談体制の強化 ・相談体制の強化 ・相談体制の強化 ・現の組織を表現している。	・相談体制の強化 出張所実施回数 延べ 30 回 ・多種職ネットワーク強化の取り組み 11 件		評価・見直し	市社協西区事務所、 ささえりあ、福祉課
10	介護予防活動や生活支援 等の情報提供	地域の介護予防活動や生活支援を把握し、積極的に情報提供を行う。 (共通)	現事業の継続	・管轄ごとの介護事業所及び医療機関を掲載 5か所 7回 ・元気くらぶの紹介 20回 ・ささえりあ広報誌発行 20回 ・ささえりあ広報誌内で社会資源に関する情報 提供 17回 ・ささえりあのHP、プログ、フェイスブック にて情報発信 延べ31回 ・福祉課より「元気くらぶ通信」の発行・配布 2回	© 今後も様々: 積極的に広報 し、事業が継続 できている。	情・ささえりめ広報調先引 20回 ・ささえりあ広報誌内で社会資源に関する情報提	・管轄ごとの介護事業所及び医療機関を掲載 12回 ・元気くらぶの紹介 14回 ・ごさえりあ広報誌発行 17回 ・ごさえりあ広報誌内で社会資源に関する情報提供 10回 ・ごさえりあのHP、プログ、フェイスブックにて情報発信 延べ 35回 ・福祉課より「元気くらぶ通信」の発行・配布 0回		評価・見 直し	市社協西区事務所、 ささえりあ、福祉課

# (2) 医療と介護が充実し、在宅(地域)で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり(在宅医療・介護連携)

高齢者が住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を送るために、また、必要な医療・介護サービスを提供していくためにも、研修会や会議、個別支援等をとおして医療・介護等の多職種との幅広い連携を行い、自立支援・重度化防止に取り組む。

※ 評価基準:◎…100%以上達成、または既に目標達成済み、○…80~100%未満達成、または令和7年度達成に向けて推移している、△…80%未満、または現状のままでは令和7年度達成が難しい

	取組項目	活動内容	目標(R7) (2025)	実績 (R4) (2022)	中間評価 (R4) (2022)	実績 (R5) (2023)	実績 (R6) (2024)	R7 (2025)		担当課•関係機関• 関係団体
1	切れ目のない在宅医療と 在宅介護の 連携推進	多職種ネットワーク会議等を 開催し、関係機関との連携を 強化する。(重点)	重層的支援体制に基づ くネットワークの構築	17件)  ・リハビリテーション広域支援センター研修	■業所や医療機 関との連携が再 関し、会議開催 が可能になっ た。	・ネットワーク会議の開催 延べ 37回 ・リハビリテーション広域支援センター研修会・ 連絡会議 4回	・ネットワーク会議の開催 延べ 27回 ・リハピリテーション広域支援センター研修会・ 連絡会議 4回		評価・見直し	市医師会、市歯科医師会、看護協会、介護支援専門員協会、
2	地域の在宅医療・介護を 担う人材の育成	介護予防・重度化防止につな がる支援ができる人材を育成 する。(共通)	自立支援型地域ケア会 議の助言者へのフィー ドバック	開催件数(延べ) 61件	△ 全ささえりあが フィードバック を行っているさ さえりあは半数 未満である。	自立支援型地域ケア会議 開催回数(延べ) 60件	自立支援型地域ケア会議 開催回数 17回 34事例 ・リエイブルメント応援会議		評価・見直し	リハビリテーション 広域支援センター、 ささえりあ、福祉課
3	在宅医療や介護等に関す  る地域住民への普及啓発	関係機関等との連携を図り住 民が適切な医療や介護につい て自ら選択できるよう支援す る。(共通)	ささえりあ圏域毎に家 族介護者教室の年2回 以上の開催	広報誌掲載回数 14回 HP・プログ・フェイスブックにて情報 発信 7回 ・家族介護者教室 11回	〇 コロナのため、 家族介護者教室 開催は事務連絡 会資料によると 年1回以上と なっており、全 ささえりあで年 1回以上実施で きた。	・在宅医療・介護の広報活動 広報誌掲載回数 11回 HP・プログ・フェイスブックで情報発信 11回 ・家族介護者教室 16回	・在宅医療・介護の広報活動     広報誌掲載回数 15回     HP・プログ・フェイスブックで情報発信 11回     ・家族介護者教室 24回		評価・見直し	ささえりあ、福祉課
4	六日の文波	「くまもとメディカルネット ワーク」の活用など、多職種 によるネットワークの構築に より、医療・介護の情報共有 を推進する。(共通)	くまもとメディカル ネットワークの周知啓 発を行う。		〇 区全体では関覧 可能数は増えた が、ささえりあ 毎の登録数に差 がある。	<ul><li>ささえりあ閲覧可能 273 人</li></ul>	<ul><li>ささえりあ閲覧可能 283人</li></ul>		評価・見 直し	市医師会、介護支援 専門員協会、 ささえりあ、福祉課
5	地域の医療・介護の資源 の把握	圏域における医療・介護に関する資源の紹介を行う。(共通)	社会資源マップの年1 回以上の作成	<ul> <li>医療機関や介護事業所を記載した一覧の作成5か所、22回</li> <li>校区カルテを作成自治協会長及び主要な町内会長・社協長へ説明配布</li> </ul>	© 年1回以上実施 できている。 今後も内容を更 新し、配布でき るようにする	医療機関や介護事業所を記載した一覧の作成 5か所、12回     校区カルテを作成 自治協会長及び主要な町内会長・社協長へ 説明配布	<ul><li>医療機関や介護事業所を記載した一覧の作成 7か所、7回</li><li>校区カルテを作成 自治協会長及び主要な町内会長・社協長へ 説明配布</li></ul>		評価・見 直し	ささえりあ、まちづ くりセンター、福祉 課

### (3) 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり(認知症対策)

西区は熊本市で一番高齢化率が高い地域で、認知症の人が増加していくと予測される。認知症があっても地域の中でその人らしく暮らすために、地域住民に対し認知症の正しい理解に向けた普及啓発や、認知症を早期に発見し、適切な対応や治療につなげられるよう、医療や介護の場面で の対応力の向上に努める。また、介護する家族に対する支援体制も整備していく。

※ 評価基準:◎…100%以上達成、または既に目標達成済み、○…80~100%未満達成、または令和7年度達成に向けて推移している、△…80%未満、または現状のままでは令和7年度達成が難しい

	取組項目	活動内容	目標(R7) (2025)	実績 (R4) (2022)		i (R4) 022)	実績 (R5) (2023)	実績 (R6) (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	担当課•関係機関• 関係団体
1	地域で見守り支え合う体	地域団体や民生委員等の意見 を踏まえ、地域における見守 り活動の連携を強化する。 (重点)		<ul><li>・徘徊模擬(声かけ)訓練 1回</li><li>・熊本市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業 登録 8件</li></ul>	△ 地域活動が少し ずつ回復してい るところで徘徊 模擬訓練は区全 体で1回のみ だった。	声掛け訓練の開催に向けて地域 住民にや関係者と の関する。	<ul><li>・徘徊模擬(声かけ)訓練の実施 1回</li><li>・熊本市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業 登録 12件</li></ul>	・徘徊模擬(声かけ)訓練の実施 1回 ・熊本市認知症高齢者等見守りSOSネット ワーク事業 登録 8 件		評価・見直し	自治協等地域組織、 民生委員、ささえり あ、市社協づとりセン あ、まま保健ことも 課、福祉課
2	対状機関による連携体制	関係機関や住民同士が認知症 に対する理解を深め連携体制 を構築する。(共通)	(新規) 令和5年度 以降 チームオレンジ の立ち上げ     認知症声掛け訓練の 各圏域での年1回以上 の開催	<ul><li>・認知症をテーマにしたネットワーク会議の関催8回</li></ul>	新規	チームオレンジ の立上げに向け て関係者と話し 合いの場を設け る。	<ul><li>・認知症をテーマにしたネットワーク会議の開催 11回</li></ul>	・認知症をテーマにしたネットワーク会議の開催 6回 ・チームオレンジの立ち上げ 1件		評価・見 直し	ささえりあ、福祉課
3	<b>分析</b>	関係機関や住民同士が認知症 に対する理解を深め連携体制 を構築する。 (共通)		<ul> <li>認知症初期集中支援チームとの連携 支援した人数 実人数 1 人</li> <li>区認知症地域推進員とささえりあとの連携 支援した人数 実人数 21人</li> </ul>		現在の取り組み を継続する。	<ul> <li>認知症初期集中支援チームとの連携 支援した人数 実人数 O人</li> <li>区認知症地域推進員とささえりあとの連携 支援した人数 実人数 47人</li> </ul>	<ul> <li>認知症初期集中支援チームとの連携 支援した人数 実人数 3人</li> <li>区認知症地域推進員とささえりあとの連携 支援した人数 実人数 42人</li> </ul>			市医師会、ささえりあ、福祉課
4	認知症に対する正しい理 解の普及啓発	認知症サポーター養成講座を 関催し、サポーターの増加を 図る。(重点)	認知症サポーター養成 講座の各ささえりあ圏 域で年2回以上の開催	・認知症サポータ養成講座 関催回数 18 回 、サポーター数 722 人	〇 コロナにより地 対活動が制限さ れていたが、全 ささえりあで年 1回以上開催し ている。	現在の取り組み を継続する。	・認知症サポータ養成講座 開催回数 19 回 、サポーター数 829 人	• 認知症サポーター養成講座 開催回数 22 回 、サポーター数 773人		評価・見直し	ささえりあ、福祉 課、市社協西区事務 所
5	認知症高齢者を抱える家族への支援	認知症を抱える家族の集いな どを開催し、精神的な負担軽 減を図る。(重点)	、精神的な負担軽 は多世代型カフェ)の	・認知症カフェ   ルルドカフェ/聖母の丘   蒼ノイエ/リパーサイド   オレンジカフェ響き/グループホーム響き	〇 区主催の集いは 再開できたが、 事業が未完の状 再開が未定の状 態。	継続し、事業所 から再開に向け た相談がある場	所 開催回数 12回 参加延べ人数 57人 ルルドカフェ/聖母の丘 (コロナのため休止) ・認知症カフェ	<ul> <li>認知症家族の集い スマイルとあ/西区・ささえりあ 開催回数 12回 参加延べ人数 56人 ルルドカフェ/聖母の丘 (開催なし)</li> <li>認知症カフェ 着ノイエ/リバーサイド 開催回数 5回 参加延べ人数 41人 オレンジカフェ響き/グループホーム響き (開催なし) R7.8.28~再開予定 ルルドカフェ/聖母の丘 (開催なし)</li> </ul>		評価・見 直し	ささえりあ、福祉課
6	身近な場所での居場所づ くり			(コロナのため3か所全て休止)	事業所主催の力 フェは感染症対 策のため再開が	て事業所からの				評価・見 直し	

取組項目	活動内容	目標 (R7) (2025)	実績 (R4) (2022)	中間評価 (R4) (2022)	実績 (R5) (2023)	実績 (R6) (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	担当課・関係機関・ 関係団体
7 気軽に相談できる体制 充実	和談場所の周知を図るととも に、認知症カフェ等の集いの 場の設置を進める。(共通)	認知症カフェ (もしく は多世代型カフェ)の 関催場所が増える		△ コロナのため認 相談場所の周知 について、回数 について、回数 や方法を工夫す 別もできなかった。	・ささえりあ広報誌への掲載 8回 ・ささえりあプログへの掲載 8回	・ささえりあ広報誌への掲載 2回 ・ささえりあプログへの掲載 3回	$\Longrightarrow$	評価・見直し	
8 認知症サポーターの養 成・活用	地域住民や民間企業及び学生 に対してサポーター養成講座 を開催し、理解を深める。 (重点)	多世代を対象とした養成講座を開催する。		〇 地域活動が再開 され、養成講座 の開催回数も対 象者も増加して いる。	• 認知症サポーター養成講座の開催 19回 サポーター数 992人	・認知症サポーター養成講座の開催 22回 サポーター数 773人 地域住民:9回 企業:1回 学校:12回(高校・小学校・専門学校)		評価・見 直し	ささえりあ、福祉課
9 認知症高齢者の事故防	警察や医療機関と連携を行 い、認知症の方に運転免許証 の自主返納を進める。 (共通)	個別対応を継続する	• 自主返納に伴う関係機関との連携 2件	の 家族が高齢者の 運転について値 接警察や免許センター等に相談 されるケースが 増加していると 考えられる。	・自主返納に伴う関係機関との連携 4件	・自主返納に伴う関係機関との連携 3件		評価・見 直し	警察、市医師会、さ さえりあ、福祉課
1○ 認知症の方の生活支援	認知症の方やその家族の望む 生活が送れるよう支援する。 (共通)	中核機関との連携	<ul><li>・成年後見制度 相談件数 延べ77件</li><li>・認知症安心ガイトグックの活用</li></ul>	〇 後見申立ての必 要な住民には情 報提供してい る。	<ul><li>・成年後見制度 相談件数 延べ77件</li><li>・認知症安心ガイトグックの活用</li></ul>	<ul><li>・成年後見制度 相談件数 延べ53件</li><li>・認知症安心ガイトグックの活用</li></ul>		評価・見 直し	市社協西区事務所、 ささえりあ、福祉課

### (4) 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり(高齢者の住まい関連)

西区は交通不便地域が多いという課題がある。自らの望む住まいで高齢者の多様化する居住ニーズに合わせ、高齢者が自らにあった暮らし方を選択でき、「生涯安心」して住める環境を整備していく。

※ 評価基準:◎…100%以上達成、または既に目標達成済み、○…80~100%未満達成、または令和7年度達成に向けて推移している、△…80%未満、または現状のままでは令和7年度達成が難しい

	取組項目	活動内容	目標(R7) (2025)	実績 (R4) (2022)	中間評価 (R4) (2022)	実績 (R5) (2023)	実績 (R6) (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	担当課•関係機関• 関係団体
11	高齢者の移動手段の確保	デマンドタクシー等の活用を 図る。(地域実情)	支えあい型サービスの 創設	デマンドタクシー 松尾東・北校区 483人 池上地区 141人 三ノ岳・山口地区 2人 大将陣地区 308人 沖新町 503人 野出・東門寺地区 487人  ・民間タクシー会社による乗り合いタクシーの 実証実験	△ お動手段の課題 まちづくりセンターや民間企業 等の関係機関と協議する。	・デマンドタクシー 松尾東・北校区:353人 池上地区:140人 三ノ岳・山口地区:5人 大将陣地区:318人 沖新町:488人 野出・東門寺地区:637人 ・AIデマンドタクシーの実証実験 対象校区:南区天明・飽田、西区小島、中島地域 3,558人 ・AI型デマンドタクシー(㈱TakuRoo実証実 験)令和5年度実績 上熊本・池田地区1,363人 期間:令和5年3月20日~令和6年3月19日	・デマンドタクシー (乗合タクシー) 松尾東・北校区: 81人 池上地区: 160人 三ノ岳・山口地区: 0人 大将陣地区: 334人 沖新町: 351人 野出・東門寺地区: 580人 ・Aデマンドタクシー (チョイソコくまもと西南) 対象校区: 南区天明・飽田、西区小島、中島地域 6648人 (R6.7-R7.3) ・A   型デマンドタクシー (のるーと上熊本) 令和6年度実績 上熊本・池田地区 1525人 (R6.9.20-R7.3.31)		評価・見直し	ささえりあ、まちづ くりセンター、福祉 課
2	高齢者の生活支援の充実	地域資源の活用や公的サービスの利用により、安心して生活ができる体制を支援する。 (共通)		<ul><li>福祉サービスの利用支援</li><li>河内・芳野校区における移動販売継続実施 1回/週</li><li>民間事業所による移動販売の情報提供</li></ul>	の 新規サービスの 割設に取り組む 他、民間事業所 に関する新しい 情報が入った場 情報が入った場合、住民への情報が 増加している。	<ul><li>福祉サービスの利用支援</li><li>河内・芳野校区における移動販売継続実施 1回/週</li><li>民間事業所による移動販売の情報提供</li></ul>	<ul><li>福祉サービスの利用支援</li><li>河内・芳野校区における移動販売継続実施 1回/週</li><li>民間事業所による移動販売の情報提供</li></ul>	$\Longrightarrow$	評価・見直し	ささえりあ、まちづ くりセンター、福祉 課
3		地域課題を関係部署に情報提 供をしていく。(共通)	地域課題を関係部署に 情報提供し共有する。	・地域課題の把握、情報提供 17か所	© 全ささえりあの 第3層におい て、関係者に情 報提供してい る。	・地域課題の把握、情報提供 27 か所	・地域課題の把握、情報提供 9 か所		評価・見 直し	ささえりあ、市社協 西区事務所、まちづ くりセンター、福祉 課
4	J#	高齢者個々の実情に応じた、 高齢者住宅や介護施設の情報 提供を行う。(共通)	個別対応を継続	<ul><li>・施設入所及び、住まいに関する相談 258件</li><li>・住宅改修・住宅改造 申請件数 403件</li></ul>	◎ 相談時、対象者 に適切と考えら れる選択肢につ いて情報提供を 行っている。	・施設入所及び、住まいに関する相談 338件 ・住宅改修・住宅改造 申請件数 453件	・施設入所及び、住まいに関する相談 289件 ・住宅改修・住宅改造 申請件数 428件		評価・見 直し	ささえりあ、まちづ くりセンター、福祉 課
5		入所者の処遇における問題を 把握したら、速やかに監督部 署へ連絡し改善につなげる。 (共通)	相談窓口の明確化	・施設処遇の相談 相談件数 13件	〇 相談件数は減少 しているが、本 人や家族からの 相談には随時対 応している。	・施設処遇の相談 相談件数 51件	・施設処遇の相談 相談件数 1件		評価・見直し	ささえりあ、福祉課

令和7年7月 作成